

四日市市 都市計画道路の見直し評価結果一覧表
 地域的機能を有する路線

番号	区間番号	路線名	計画概要			見直し対象延長	見直し評価結果	理由	備考
			幅員	車線数	路線概要				
1	(5-1)	稲葉町大井手線	16.0	2	旧港から市中心部を通り国道477号へ結ぶ道路として計画決定	260	存続	現道の市道稲葉7号線はセンターラインのない道路であり、停車帯、歩道ともに未整備である。当該路線は重要文化財へのアクセス機能を有する路線であり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道稲葉7号線
2	(6-1)	追分石原線	15.5	2	国道23号及び国道1号から臨海部を結ぶ道路として計画決定	160	存続	現道の市道追分石原線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、管理用道路となる側道が計画幅を満たしていない。当該路線は主要道路間の連絡道路の役割もあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道追分石原線
3	(6-2)	追分石原線	18.0	2	"	850	存続	現道の市道追分石原線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、歩道が一部区間未整備であり、停車帯も整備されていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	"
4	(7-1)	富田本町線	22.0	4	富田地区から近鉄三岐富田駅へのアクセス道路として計画決定	620	存続	現道の市道富田1号線などはセンターラインのない道路であり、計画の車線数(4車線)、歩道ともに未整備であり、鉄道との交差点も立体交差構造になっていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道富田1号線ほか
5	(7-2)	富田本町線	22.0	4	"	310	存続	現道の市道富田1号線はセンターラインのない道路であり、計画の車線数(4車線)、歩道ともに未整備である。通学路にも指定されており、また、災害防止機能も有する路線であり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道富田1号線
6	(8-1)	午起末永線	22.0	2	国道23号から近鉄川原町駅付近へのアクセス道路として計画決定	450	存続	現道の市道午起末永線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、JR関西本線との交差点が立体交差構造となっていない、また、歩道についても未整備の区間がある。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺にも代替道路がないため存続とする。	市道午起末永線
7	(15-1)	富田駅前線	18.0	2	JR富田駅から都市計画道路富田本町線へのアクセス道路として計画決定	150	存続	現道の県道富田停車場線はセンターラインのない道路であり、車道・停車帯・歩道ともに未整備である。当該路線は鉄道駅にアクセスする沿道利用機能を有する路線であり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	県道富田停車場線
8	(20-1)	泊鷗線	16.0	2	羽津地区から日永地区を結ぶ本市の南北軸として計画決定	2,180	存続	現道の市道日永八郷線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、停車帯、歩道ともに計画の幅員構成を満たしていない。当該路線は主要道路間の連絡道路の役割もある路線であり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道日永八郷線
9	(20-2)	泊鷗線	16.0	2	"	690	存続	現道の市道日永八郷線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、停車帯、歩道ともに計画の幅員構成を満たしていない。当該路線は主要道路間の連絡道路の役割もある路線であり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	"
10	(20-3)	泊鷗線	16.0	2	"	430	存続	現道の市道日永八郷線との重複区間を除き、車道・停車帯・歩道ともに未整備である。並行道路となる市道日永八郷線(離隔距離:約80m)は2車線のため、車道機能の代替性は有しているが、歩道が片側のみであり停車帯も整備されていない。当該路線は主要道路間の連絡道路の役割もある路線であるため、存続とする。	市道日永八郷線(一部区間のみ)
11	(20-4)	泊鷗線	16.0	2	"	440	存続	並行道路となる市道野田西川原線において、車道、歩道ともに都市計画道路泊鷗線の計画の幅員構成を満たしているため、代替道路となり得る。しかしながら、隣接する南側の区間(路線・区間番号20-3)との接続部分がクランク形状となるなど、道路線形に課題が生じることから、存続とする。	現道なし
12	(20-5)	泊鷗線	16.0	2	"	2,710	存続	現道がないため、車道、停車帯、歩道ともに未整備の状況である。当該路線は主要道路間の連絡道路の役割もある路線であり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	"
13	(22-1)	阿倉川西富田線	16.0	2	都市計画道路赤堀山城線から海蔵・羽津・富田地区の住宅地を通り、都市計画道路富田萱生線までを結ぶ道路として計画決定	660	存続	現道の市道大宮35号線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、停車帯、歩道ともに計画幅を満たしていない。当該路線は第6次緊急輸送道路に指定されているなど、都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道大宮35号線 第6次緊急輸送道路
14	(23-1)	伊倉生桑線	16.0	2	市中心部を通る都市計画道路四日市中央線から三重団地までを結ぶ道路として計画決定	1,150	存続	現道の市道日永八郷線は2車線のため計画の車線数は満たしているが、停車帯が未整備であり、歩道も片側しか整備されていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道日永八郷線、市道三重団地生桑線
15	(25-1)	塩浜波木線	15.0	2	臨海部から住宅団地等へのアクセス道路として計画決定	640	存続	現道の県道宮東日永線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、鉄道との交差点が立体交差構造になっていないことやまた、停車帯、歩道ともに計画幅を満たしていない。当該路線は主要道路間の連絡道路の役割もある路線であり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	県道宮東日永線
16	(30-2)	富田萱生線	16.0	2	近鉄三岐富田駅と郊外の住宅団地等を結ぶ道路として計画決定	650	存続	現道の市道大矢知富田線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、停車帯、歩道ともに計画幅を満たしていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道大矢知富田線
17	(30-3)	富田萱生線	12.0	2	"	330	存続	現道の市道大矢知富田線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、歩道が、一部区間しか整備されてなく、計画幅を満たしていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	"
18	(30-5)	富田萱生線	12.0	2	"	910	存続	現道の市道中村平津線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、歩道が一部区間しか整備されてなく、計画幅を満たしていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道中村平津線

19	(31-1)	赤堀山城線	16.0	2	市中心部と住宅団地を結ぶ道路として計画決定	820	存続	現道は無く、車道・停車帯・歩道ともに未整備の状況である。周辺には市道小杉37号線及び部田川左岸3号線が整備されているが、離隔距離も長く、また、停車帯、歩道も未整備の状況である。当該路線は主要道路間の連絡道路の役割もある路線であり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	現道なし
20	(31-2)	赤堀山城線	12.0	2	"	540	存続	現道の市道日永八郷線及び並行道路となる県道小牧小杉線(離隔距離:約120m)は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、歩道が整備されていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道日永八郷線
21	(32-1)	富田一色朝日線	18.0	2	富田地区から金属工業団地を經由して、隣接市町に接続する道路として計画決定	850	存続	現道の県道四日市港松原線はセンターラインのない道路であり、車道、歩道機能ともに計画の機能を満たしていない。また、市道富田一色7号線は広幅員道路で整備されているが、計画の幅員構成を満たしていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	県道四日市港松原線、市道富田一色7号線
22	(33-1)	富洲原天カ須賀線	12.0	2	近鉄川越富洲原駅へのアクセス道路として計画決定	50	存続	現道の市道天カ須賀25号線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが計画線通りに完成していない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道天カ須賀25号線
23	(33-3)	富洲原天カ須賀線	12.0	2	"	460	存続	現道の市道天カ須賀15号線はセンターラインのない道路であり、車道、歩道ともに未整備である。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道天カ須賀15号線
24	(34-1)	小倉磯津港線	12.0	2	磯津漁港へのアクセス道路として計画決定	550	存続	現道及び並行道路となる市道小倉磯津港線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、歩道が未整備である。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道小倉磯津港線
25	(35-1)	石原南五味塚線	12.0	2	臨海部工業地帯から鈴鹿方面へのアクセス道路として計画決定	660	存続	現道の市道石原南五味塚線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、歩道が未整備である。当該路線は通学路に指定されている路線であり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道石原南五味塚線
26	(46-1)	高浜陶栄線	15.0	2	市中心部周辺地域における国道23号から国道1号までを結ぶ道路として計画決定	490	存続	現道の市道京町高浜新町線はセンターラインのない道路であり、車道、停車帯、歩道ともに未整備である。当該路線は通学路にも指定されており、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道京町高浜新町線
27	(46-2)	高浜陶栄線	15.0	2	"	430	存続	現道もなく車道・停車帯・歩道ともに未整備の状態である。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	現道なし 一部区間(70m)整備済み。
28	(46-3)	高浜陶栄線	15.0	2	"	410	存続	現道の市道海蔵川右岸1号線はセンターラインのない道路であり、車道、歩道ともに未整備である。当該路線は主要道路間の連絡道路の役割もある路線であり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道海蔵川右岸1号線
29	(51-1)	霞ヶ浦羽津山線	12.0	2	国道1号から近鉄霞ヶ浦駅を經由して都市計画道路泊鷗線までを結ぶ道路として計画決定	900	存続	現道の市道霞ヶ浦垂坂線は一部区間を除き、2車線であるが、近鉄線との交差点が立体交差構造になっていない。また、歩道が無い区間が多く、計画幅を満たしていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道霞ヶ浦垂坂線
30	(51-2)	霞ヶ浦羽津山線	12.0	2	"	180	存続	現道の市道霞ヶ浦垂坂線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、歩道が一部区間(片側)しか整備されていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	"
31	(52-1)	三重橋垂坂線	12.0	2	国道23号から近鉄阿倉川駅付近を通り、都市計画道路泊鷗線までを結ぶ道路として計画決定	610	存続	現道の市道三重橋垂坂線は2車線であり、計画の車線数は満たしているが、近鉄名古屋線との交差点が立体交差構造となっていない。また、歩道についても整備ができていない区間がある。当該路線は第5次緊急輸送道路に指定されているなど、都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道三重橋垂坂線
32	(52-2)	三重橋垂坂線	12.0	2	"	170	存続	現道は無く、また、並行道路となる市道三重橋垂坂線は計画決定の車線数が確保されているため車道機能の代替性は有しているが、歩道が無い状況である。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあるため、存続とする。	市道羽津山線
33	(54-1)	六地藏中川原線	12.0	2	市中心部周辺地域における近鉄中川原駅までのアクセス道路として計画決定	780	存続	現道の市道六地藏中川原線はセンターラインのない道路であり、歩道も未整備の状況である。当該路線は通学路にも指定されており、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道六地藏中川原線
34	(56-1)	永宮松本線	12.0	2	都市計画道路堀木日永線と環状1号線との連絡道路として計画決定	690	存続	現道の市道鹿化川右岸歩道1号線は車道機能が確保されていないものの、歩行者専用道路となっているため、歩行者の安全性は確保できる。また、並行道路となる市道日永東日野線において、車道機能の代替性は有しているが、有無別交通量配分の結果より周辺への交通の影響が見受けられるため存続とする。	市道鹿化川右岸歩道1号線ほか
35	(56-2)	永宮松本線	12.0	2	"	1,940	存続	当該路線には市道西日野35号線ほか3路線があるものの、ほとんどの区間において、センターラインのない道路であり、歩道も未整備である。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道西日野35号線ほか
36	(60-1)	塩浜駅前線	10.0	2	都市計画道路曙橋線から近鉄塩浜駅へのアクセス道路として計画決定	210	存続	現道の市道塩浜駅前線はセンターラインのない道路であり、車道、歩道ともに未整備である。並行道路となる市道御園塩浜本町線(離隔距離:170m)は2車線のため、計画の車線数は満たしているが、歩道が整備されていない。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあるため、存続とする。	市道塩浜駅前線
37	(81-1)	楠駅開栄町線	12.0	2	近鉄楠駅から楠漁港までのアクセス道路として計画決定	1,050	存続	現道の市道楠駅開栄町線は一部区間を除きセンターラインのない道路であり、車道、歩道ともに未整備である。当該路線は指定避難地への連絡道路で都市防災機能を有する路線でもあり、周辺には代替道路も無いため存続とする。	市道楠駅開栄町線

	見直し案	対象延長
存続	22路線・37区間	25,380
変更	0	0
廃止	0	0
計	22路線・37区間	25,380